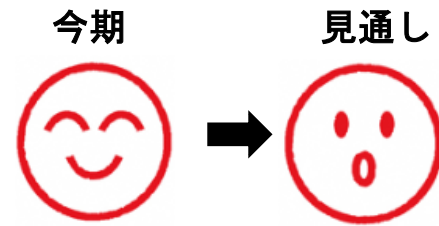


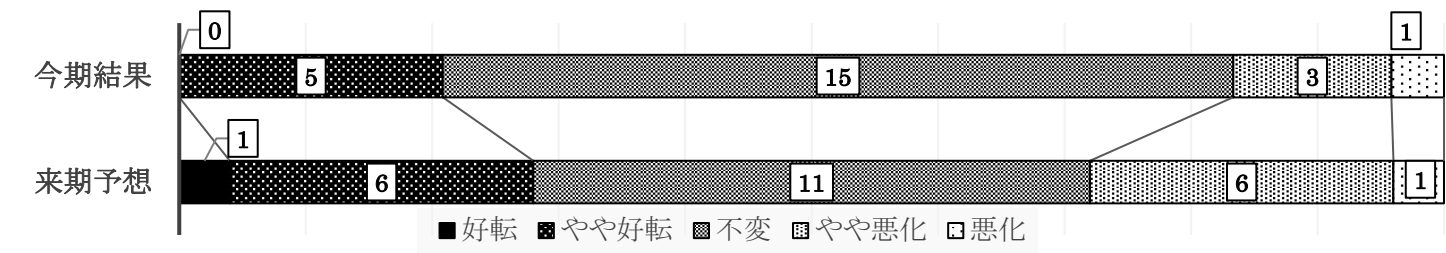
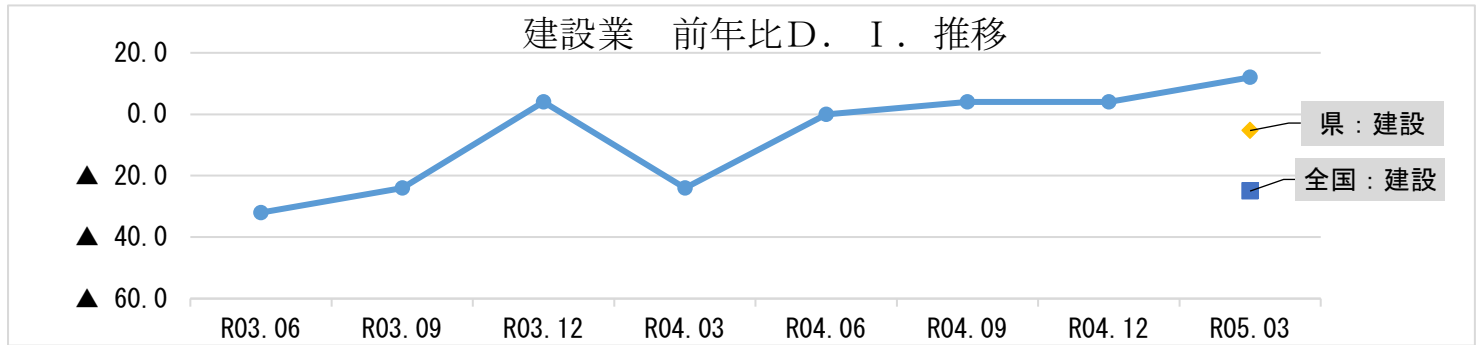
建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

建築工事の見積り依頼はあるが、仕入れ材料の高騰で見積りの値段も上がるため、工事の受注に影響している。今後も材料等の価格高騰は、継続すると思われる。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

建材の高騰が継続的に続いており、中でも鉄骨やアルミ、コンクリート資材の価格が微増を繰り返している。建築工事の見積り依頼はあるが、仕入れ材料の高騰で見積りの値段も上がるため、工事の受注に影響している。造園工事は、コロナ禍で一時落ち込んでいたが、個人需要が戻ってきている。

【丹波市の来期の景況予想】

今後も材料等の価格高騰は、継続すると思われる。資材関係の高騰により、原価が上がり利益がでにくい状況が続くと思われる。また、省エネ住宅を国が推奨している事もあり、省エネ住宅は普及すると思われるが、一人大工が施行できる範囲が限られてくるため、今後の経営が厳しくなることが予想される。

■全国の景気動向

建設業は、年度末の受注増加から売上は改善しているが、資金繰りは悪化している。人手不足による工期の延長でより多くの人件費が発生し、更に受注から工事が完了し売上が入金するまでの期間も延びる傾向にあり、資金繰りが悪化する負のスパイラルに陥っている。資材やエネルギー価格の高騰によりコストが増大している。

■県下の景気動向

木材価格は落ちついたが、建材価格が高騰しており、建築需要が下がってきている。公共工事等の受注はある程度増加しているものの、建材やエネルギー価格の高騰で経費が増えており、利益が確保できない状況となっている。

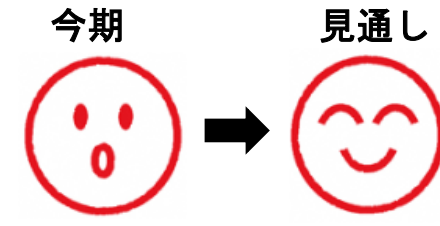
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	1	1	3	1	0	8	32.0%
不変	1	7	0	0	2	2	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	4	0	1	0	0	5	20.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

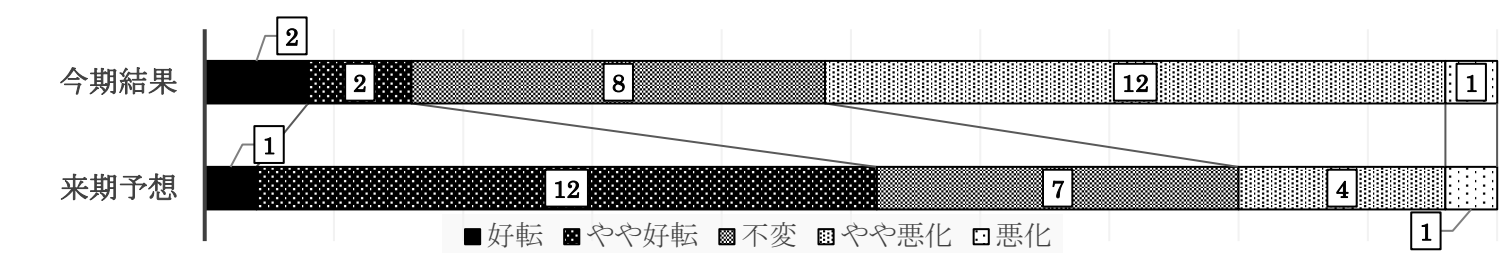
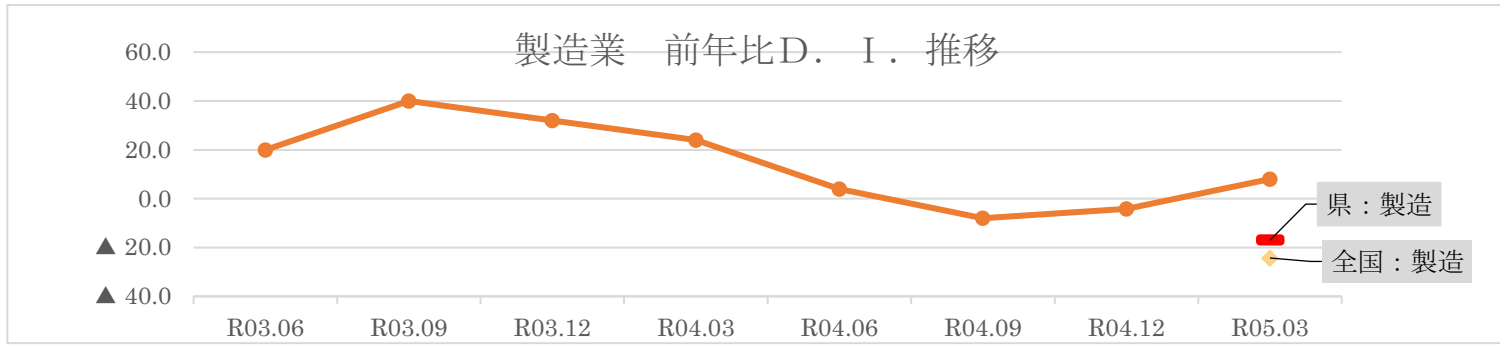
回答率：100% (25/25)

2023年1月～3月期調査



■丹波市の景況推移

製造業全般において、原材料等の価格高騰が継続しており、懸念事項として挙げられているが、来期以降も需要の回復や増加が期待できるため、景況感は回復傾向にある。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

コロナ前の水準まで売上高が回復している企業が増加しており、徐々に好転してきている。但し、原材料、水道光熱費等の価格が継続的に上昇しており、業績の悪化を招いている企業が見受けられる。そのため、コスト逓減や生産性の向上、新技術の採用などで新たな取組みを試みる企業も増加している。

【丹波市の来期の景況予想】

コストの上昇は懸念事項として挙げられるが徐々に市場も活況になっており、継続的な需要の増加が期待できるため、全体として好転の動きになると想定されている。

■全国の景気動向

需要回復から受注は伸び始めており、多岐に亘る業種でコロナ前の水準に回復し、供給管理の見直しで国内での調達に切り替えるなどの傾向も見受けられ、新規案件の取引もある。ただ、原材料や原油価格の高騰に伴うコストの上昇が採算を圧迫し続けており、価格転嫁交渉に難航する事業者も多くあり、先行きを懸念する声もある。

■県下の景気動向

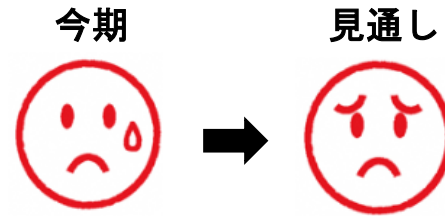
金属関連や一部の資材については昨年と比較して倍以上にコストが上昇するなど、価格転嫁が難しい事業者が増加しており、また、人材の確保で苦慮している事業所も見受けられる。ただ、全体的な動向としては物流機能や観光事業の回復も進み、繊維工業、食品製造業とも以前から回復していた金属産業以外も回復の兆しが見え始めている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	2	1	2	1	9	36.0%
不変	1	3	2	2	1	0	9	36.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	4	1	0	0	2	7	28.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

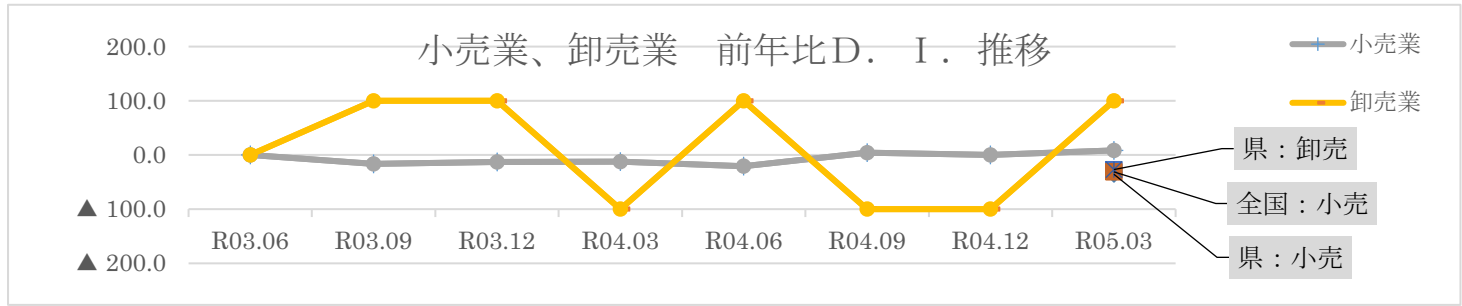
小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

全般的に、昨年と比べると売り上げが動いてきている。一方で仕入価格、経費は増加し、今後さらなる値上がりが様々な分野で懸念されており消費者の購買意欲の低下が予想される。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

物価高騰により衣料品については買い控えの傾向にある。食料品小売業については、仕入れ価格の高騰により売上価格に転嫁はしているものの大きくは上げることが出来ず、利益を圧迫している。自動車小売業では、特殊車両や人気の車種については入荷が遅く、価格の高騰も激しい。燃料小売業については政府の燃料高騰に対する補助金が出ており価格は安定傾向にある。しかし一部の安売り店が価格競争に走り、相場が下がる状況にある。

【丹波市の来期の景況予想】

コロナの影響が落ち着いてきており、人の動きが出てきているものの、物価高騰の影響は大きく今後さらなる値上がりが様々な分野で懸念されており消費者の購買意欲の低下が予想される。

■全国の景気動向

コロナ禍に比べると消費は高まりつつも、物価高からの買い控えも一部見られる中、コスト高騰もあり、思うように収益確保ができていないとの声もある。衣料品関連は、新型コロナウイルス感染症の5類入りが発表された1月頃からファッション需要が高まっている。

■県下の景気動向

食料品の急激な値上げの影響で販売価格を上げざるを得ない状況で、個人の小売店では購買意欲が低下し客離れが更に進んでいる。

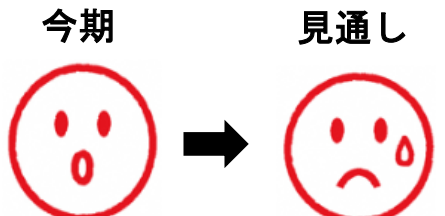
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	5	1	0	0	0	8	32.0%
不変	3	3	0	2	2	2	12	48.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	1	0	2	1	0	5	20.0%
合計	6	9	1	4	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

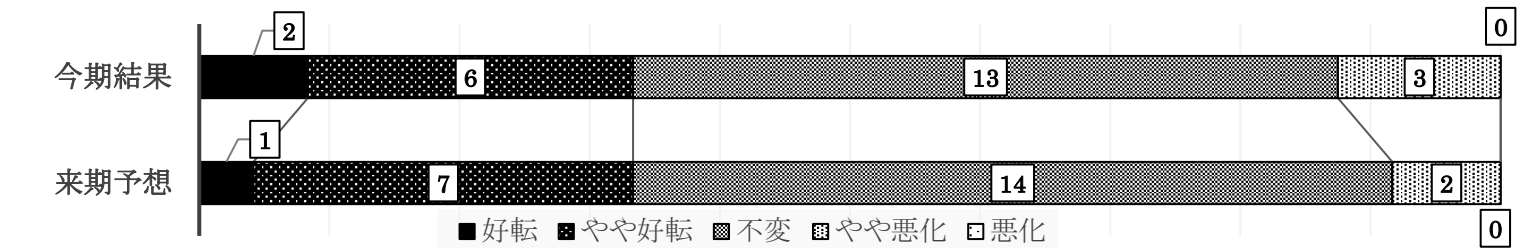
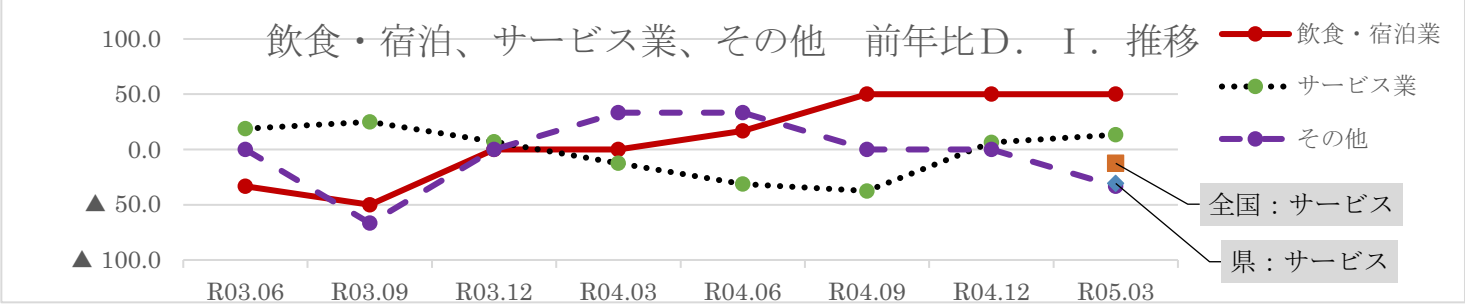
回答率：96% (24/25)

2023年1月～3月期調査



■丹波市の景況推移

飲食宿泊ではコロナ収束により客足が戻りつつある半面、それ以上に多くの業種で原材料、光熱費高騰の影響が大きく、まだまだ先行きが厳しいという見方が強い。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

3月に入り、飲食・宿泊業を中心に客足が少しずつ戻ってきているところが多い。ただ、卵や野菜等の高騰が利益を圧迫している。関連して、農業分野では肥料、包装材、配送料すべてが値上がりし複数回にわたり販売単価の引き上げを行っている事業者も少なくない。また、サービス業を中心に慢性的な人手不足が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

コロナの5類への移行、それに伴いマスク着用が自己判断になったことで、いよいよ人が動き出すという期待感が高まっている。インバウンド需要も高まってきており、今後に期待がかかる。

しかし、運送・物流業では、2024年問題など、対応すべき課題も多く、先行きに不安を抱える声も多い。

■全国の景気動向

宿泊業については、人流の回復と全国旅行支援の効果もあり前年同期比大幅増となっている事業者もあり、回復基調は継続。一方で、多くの業種で原材料及び光熱費の高騰が著しく利益率は軒並み低下している。

また、人手不足は顕著な問題となっており、外国人労働者の雇用への関心も高まっている。

■県下の景気動向

コロナ収束の流れではあるが、経営上の問題点として、「売上の減少・停滞」、「原材料・燃料高騰」、「人材不足」の占める割合が大きく、徐々に回復基調ではあるが、コロナ以前のところまでは戻っていない。

そのため、販売価格の値上げや、新たなサービスの開発、情報力の強化などに取り組む事業者も増えてきている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	7	1	1	0	0	10	41.7%
不変	2	0	1	3	1	1	8	33.3%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	2	0	1	0	6	25.0%
合計	5	8	4	4	2	1	24	100.0%